

法面工の順序



①ラス張

モルタル吹付を行う前に、下地を整えていきます。金網（ラス）を施工範囲の全面にわたり設置していきます



②ラスの固定

ラスがずらないよう、ピンにより地盤に固定していきます



③位置決め

法枠工の骨組みを設置する箇所を決めていきます。



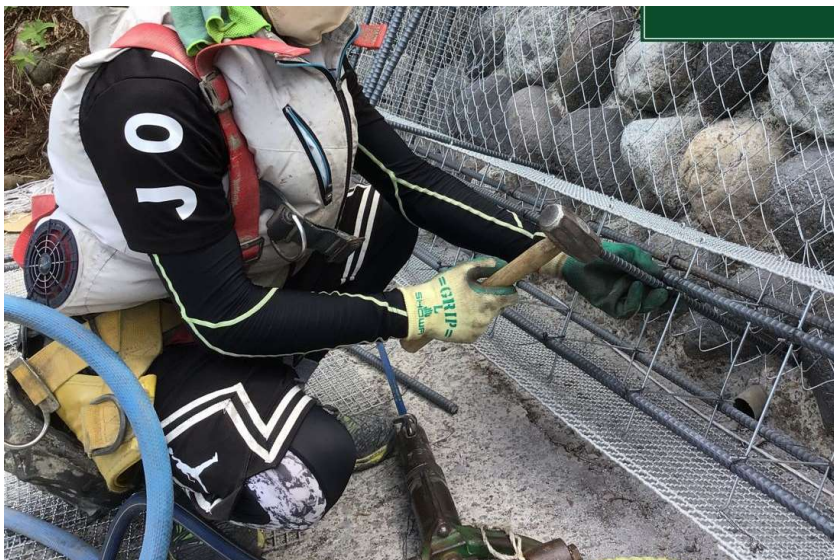
④法枠工の骨組設置①

骨組みは、鉄筋とフリーフレームと呼ばれる金網が所定の寸法で組み合わされた材料を使って仕上げていきます。
まずは鉄筋を設置。



⑤法枠工の骨組設置②

フリーフレームと呼ばれる金網が所定の寸法で組み合わされた材料をセットしていきます



⑥法枠工の骨組設置③

フレームを設置したのち、上にも鉄筋を這わせて、アンカーピンにて地盤と十分に固定します



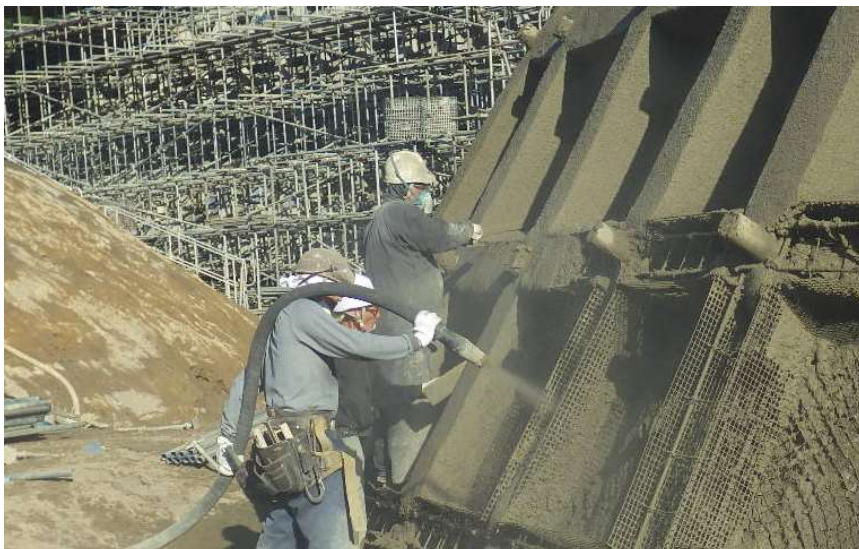
設置完了（全景）

上段の骨組みが完成しています。



交点にボイド管

交点にボイド管を設置していますが、これは、次工程の「鉄筋挿入工」に無駄がないように設置しているものです。



⑦モルタル吹付

骨組みにモルタルを吹付て、法枠工を完了させます。法枠工は斜面の安定を図る一方で、後に施工する鉄筋挿入工の反力構造物に利用します。



⑧足場工

鉄筋挿入工を行うにあたり、専用の機械の足場を確保しなければなりません



⑨鉄筋挿入工①

専用の機械を使用し、所定の長さまで鉄筋が設置できるように削孔していきます



⑩鉄筋挿入工②

所定の長さの鉄筋を挿入します



⑪鉄筋挿入工③

鉄筋を挿入したのち、セメントミルクを注入します



⑫鉄筋挿入工④

頭部処理を行い、鉄筋挿入工が完成になります。